



## Blanco スタートアップガイド

バージョン 2.5 (2018 年 12 月 17 日)

### 変更履歴

版数	日付	変更内容
2	2018 年 7 月 1 日	2018 年 9 月 1 日以降の購入者向けに内容を刷新。
2.1	2018 年 7 月 25 日	誤字脱字の修正。
2.2	2018 年 10 月 5 日	注意事項として V2C ファイル保存をやり直す方法を追加。
2.3	2018 年 10 月 25 日	招待メールに関してサインアップ期限の説明を追加。 サインアップページのパスワード要件の説明を追加。
2.4	2018 年 11 月 14 日	Sentinel® LDK and Sentinel HASP® Run-time Environment Installer GUI for Windows の配布 URL を変更。
2.5	2018 年 12 月 17 日	Sentinel® LDK and Sentinel HASP® Run-time Environment Installer GUI for Windows の配布 URL を変更。

## 目次

はじめに	3
1.1 対象読者と目的	3
1.2 手続きの概要	3
2 管理者ユーザーのサインアップ	3
3 ライセンスエンタitlementメント (Entitlement) の作成	5
3.1 ライセンスエンタitlementメントの作成手順	6
4 ライセンスアクティベートとライセンス情報の確認	7
4.1 ライセンスアクティベートの手順	8
4.2 ライセンス情報確認の手順	13

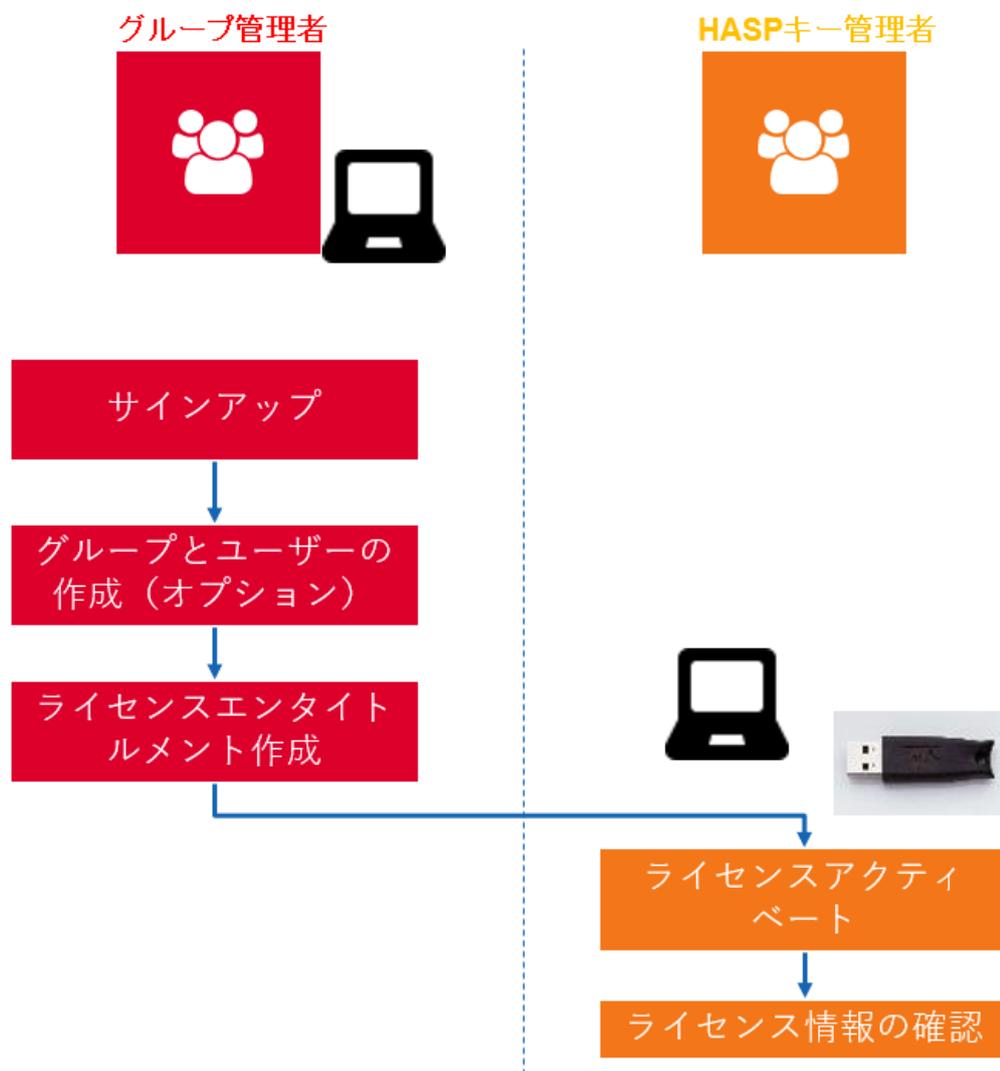
# はじめに

## 1.1 対象読者と目的

2018年9月1日以降の購入者を対象として、Blanco ソフトウェアの利用開始手続きを説明します。

手続きが正しく実施されていない場合、ライセンス残数不足またはライセンス期限切れなどのエラーが生じ、Blanco ソフトウェアをご利用いただけませんので必ず実施してください。

## 1.2 手続きの概要



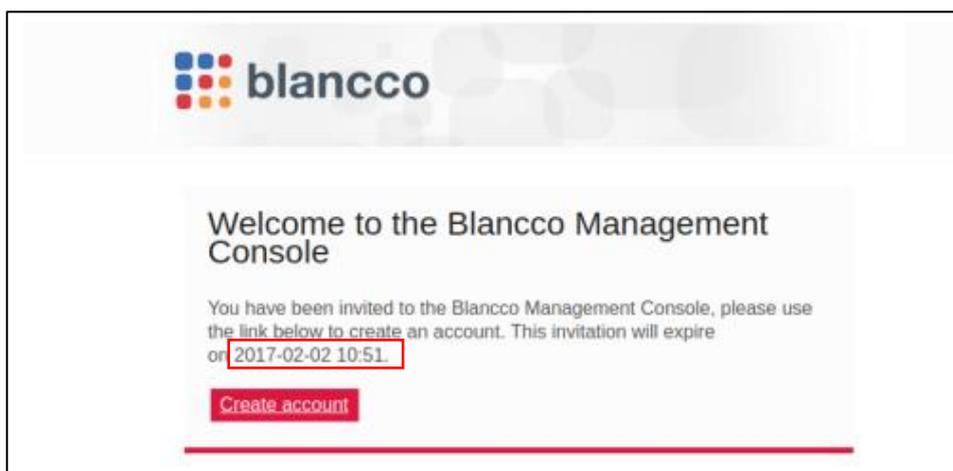
※オプション機能についてはご相談ください。

## 2 管理者ユーザーのサインアップ

Blanco Cloud を利用するために管理者ユーザーの登録を行うステップです。

前提として、ご指定のメールアドレスに次の画像のような「招待メール」が届いている必要があります（招待メールの件名と送信元メールアドレスは、それぞれ「Blanco Management Console: Invitation」と「noreply@blancco.com」です。これらのワードでメールボックスを検索してください）。

また、サインアップには期限があるため、招待メールに記載の日時まで完了するようご注意ください。次の画像の例では赤い線で囲んである 2017-02-02 10:51（日本時間で 2017 年 2 月 2 日 19 時 51 分）が期限になります。



メール本文中の「Create account」をクリックすると、Web ブラウザが開いて次の画面のようなユーザー登録ページに接続します。

ここで入力する情報は次の通りです。

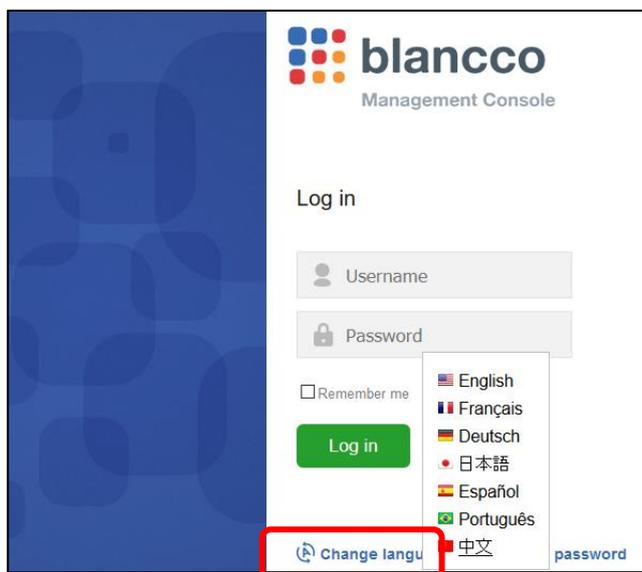
- **Username \***：ログイン時に入力する名前。システム全体で一意でありさえすれば taro.yamada, taro-yamada, taro.yamada@blancco.com など任意の形式の名前を指定することができます（半角英数字記号の使用を推奨）。

- 特別な理由がなければメールアドレスを入力してください。
- サインアップ後は変更できませんのでご注意ください。
- **First name** : ユーザーの名 (例: 太郎)。サインアップ後は変更できませんのでご注意ください。
- **Last name** : ユーザーの姓 (例: 山田)。サインアップ後は変更できませんのでご注意ください。
- **Password \*** : ユーザーのパスワード。以下の条件を全部満たす必要があります:
  - 一個以上の英大文字 (A-Z)
  - 一個以上の英小文字 (a-z)
  - 一個以上の数字 (0-9)
  - 一個以上の特殊文字:[スペース]!"#\$%&'()\*+,-./:;<=>?@[\\]^\_`{|}~
  - 文字数は 10 以上 64 以下。
- **Re-type password \*** : 確認のためにパスワードを再入力します。
- **I accept the Terms of Service** : システムの利用規約への同意を示すチェックボックス。

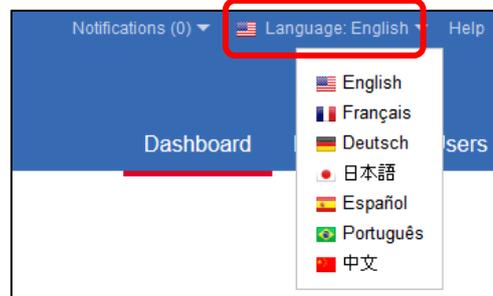
必要な情報を入力してから「Sign up」をクリックしてください（「\*」は入力必須です）。成功するとログイン画面へと移動します。

システムの表示言語はログイン画面、またはログイン後の画面のヘッダ部分から変更できます。

ログイン画面



ログイン後



### 3 ライセンスエンタイトルメント (Entitlement) の作成

ライセンスエンタイトルメントの作成は、Blancco Cloud 上のライセンスを HASP キー (HASP ドングル) に付与するための必須手順です。必ず実施してください。

ライセンスエンタイトルメント（License Entitlement）の作成により、ライセンスの登録・アクティベート作業に必要な「Product Key」を取得することができます。

### 3.1 ライセンスエンタイトルメントの作成手順

ログインし、「ユーザー&ライセンス」タブ → 「エンタイトルメント」ビューを表示させます。



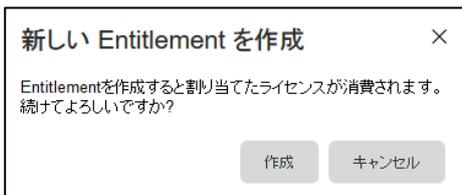
ここで「作成」をクリックするとエンタイトルメント作成ビューが開きます。



「ライセンスを追加」ドロップダウンメニューからライセンス（製品の種類ごとにライセンスが存在します）を選択します。「割り当てる数量」フィールドに HASP キーに付与したいライセンス数を入力してください。



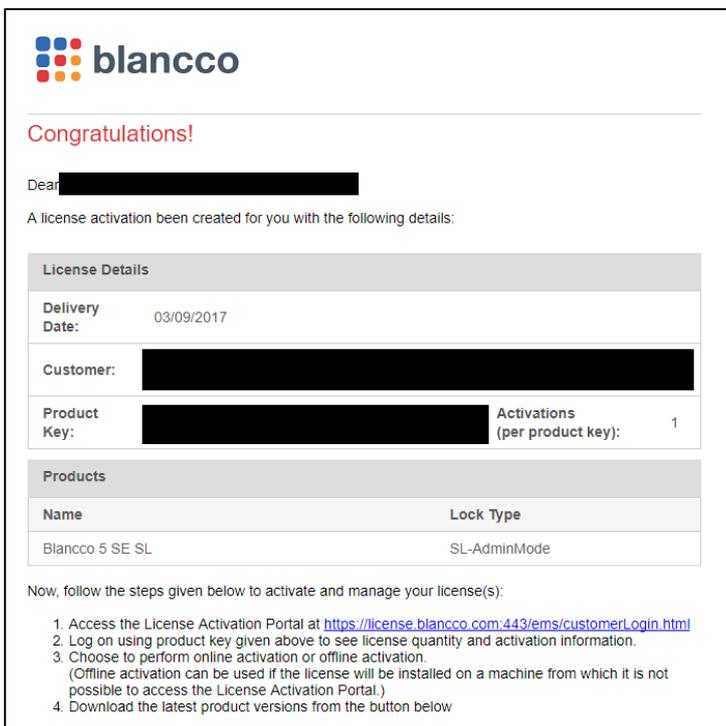
入力が完了したら、「作成」をクリックします。確認ウィンドウがポップアップするので、再度「作成」をクリックしてください。この時点で Blancco Cloud 上のライセンスを消費し、HASP キーにライセンスを付与するためのエンタイトルメントを生成します（Blancco Cloud 上で消費されたライセンスを再び Blancco Cloud に戻すことはできませんのでご注意ください）。



ライセンスが消費されエンタイトルメントが生成されると、以下のウィンドウが表示されます：



以上により、ユーザーのメールアドレスに対して次の「EMS メール」が送信されます。次のステップはこの EMS メールを参照して行います（メールの件名と送信元メールアドレスはそれぞれ「EMS – Entitlement Certificate」と「license@blancco.com」になりますので、これらのワードでメールボックスを検索してください）。

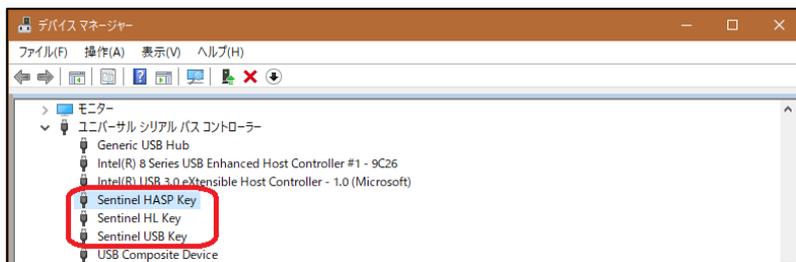


## 4 ライセンスアクティベートとライセンス情報の確認

EMS メールを参照してライセンスアクティベーションポータルにログインし、HASP キーへのライセンスの登録（アクティベート）を行います。アクティベートの後、HASP キーにライセンスが正常に登録されたかどうかを目視で確認します。

## 4.1 ライセンスアクティベートの手順

インターネットに接続した状態の Windows コンピュータを用意し、HASP キーを接続。そして Windows の「デバイスマネージャー」を開き、次のように「Sentinel」のデバイスが3個認識されていることを確認します（初回接続時は自動的にインターネットからデバイスドライバがインストールされます）。



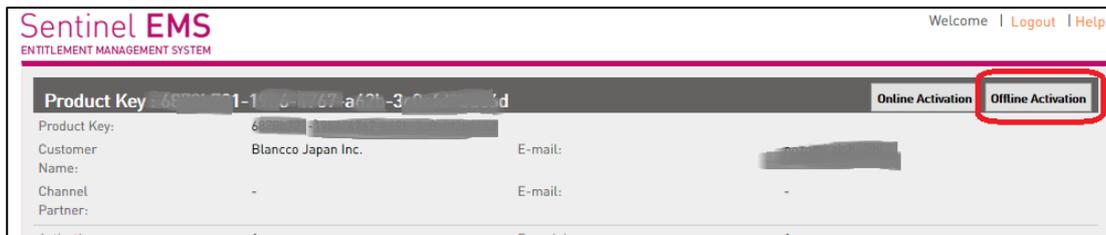
※ドライバが自動的にインストールされず、HASP キーを認識しない場合、または、エラーが発生した場合は、

<https://sentinelcustomer.gemalto.com/sentineldownloads/?s=&c=End+User&p=HASP+HL&o=Windows&t=all> にアクセスし、Sentinel® LDK and Sentinel HASP® Run-time Environment Installer GUI for Windows を手動でダウンロード・インストールしてください。

「EMS メール」の本文に記載されている「License Activation Portal」の URL をクリックして Web ブラウザを開き、同じく EMS メールに記載されている「Product Key」を使ってログインします。



ログイン後に表示される画面で右上の「Offline Activation」をクリック。



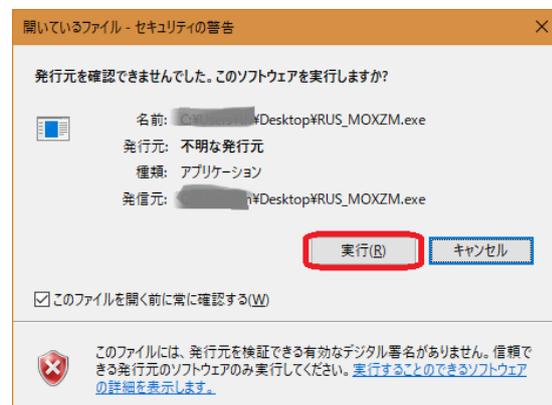
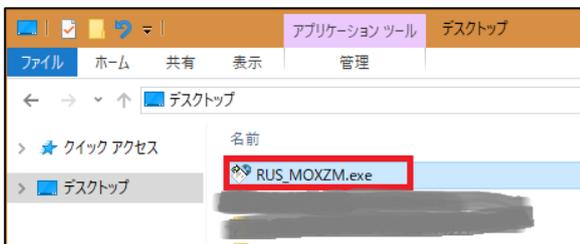
次の画面では「RUS」をクリック。



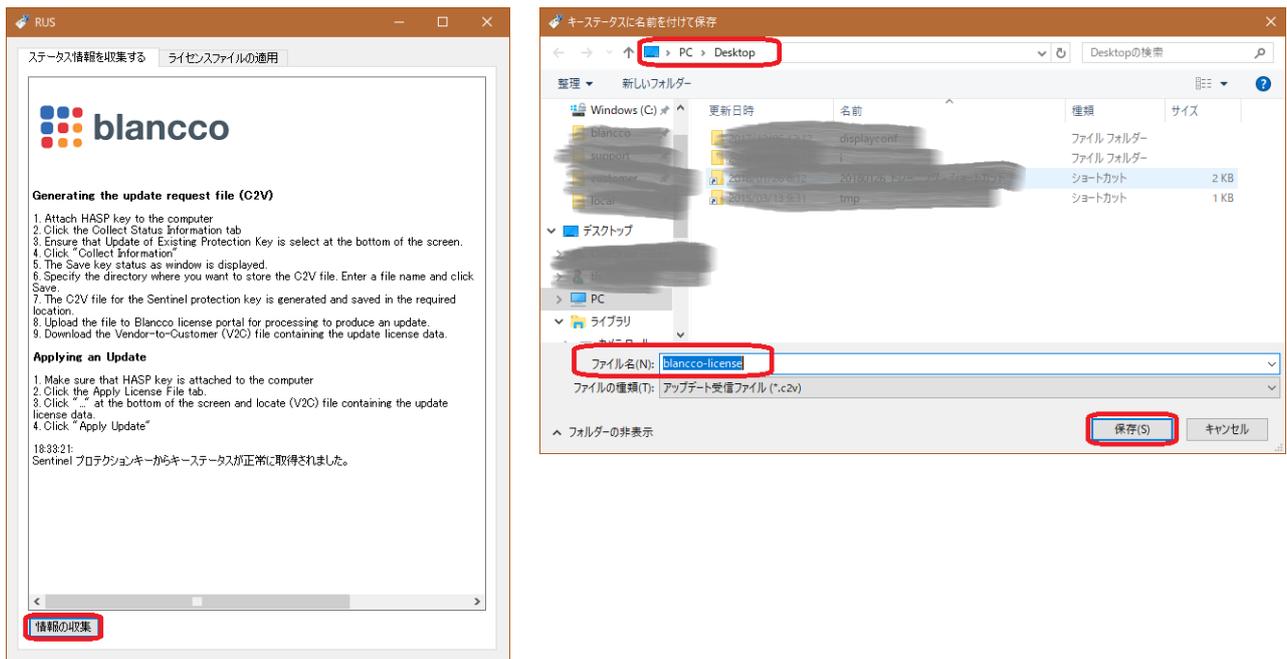
「RUS\_MOXZM.exe」のダウンロードが始まるため、任意の場所に保存（ここではデスクトップに保存することとする）。



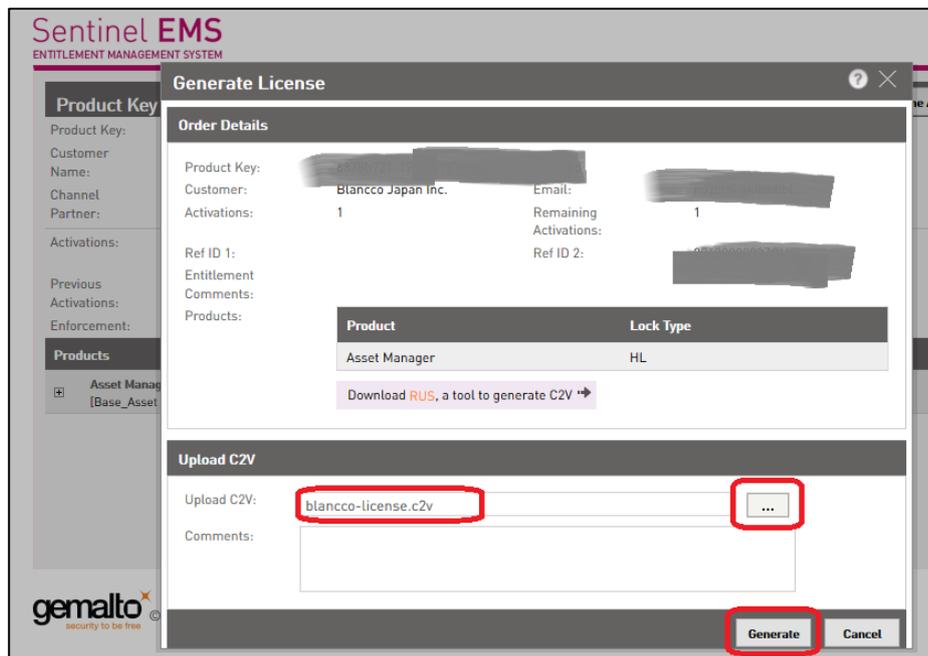
デスクトップに保存した「RUS\_MOXZM.exe」をダブルクリックして実行する（セキュリティの警告が表示された場合は「実行」を選択）。



「RUS」ツールのウィンドウが表示されるので、「情報の収集」をクリック。すぐに「Sentinel プロテクションキーからキーステータスが正常に取得されました。」と表示され、「キーステータスに名前を付けて保存」ダイアログが表示される。ファイル名に任意の名前（例：blanco-license）と指定してデスクトップに保存する。保存したファイルを以下では「C2V ファイル」と呼ぶ。

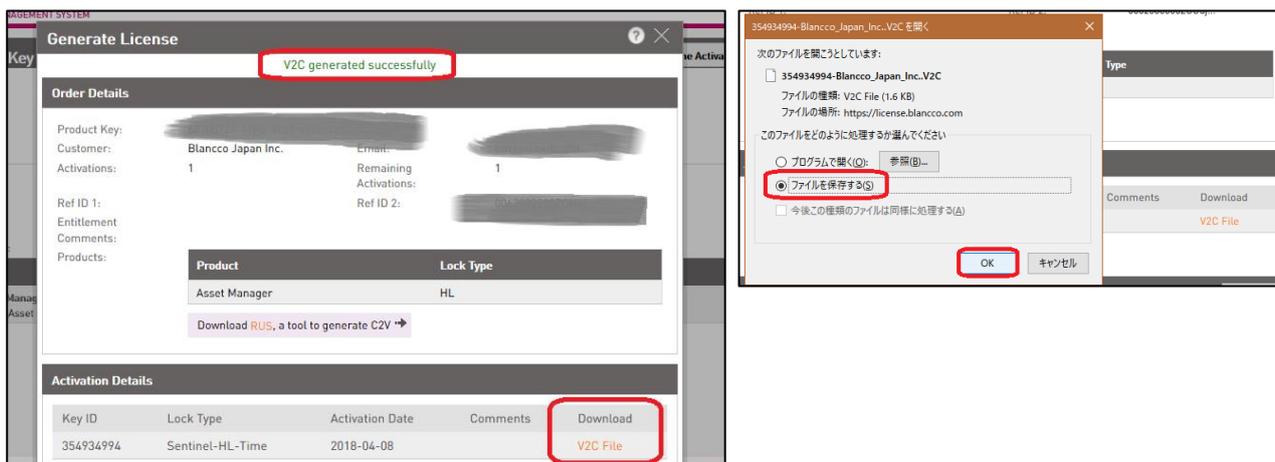


ここで License Activation Portal の画面（Web ブラウザ）に戻り、「Upload C2V」の右側にあるアップロードボタン「…」をクリック。デスクトップに保存しておいた C2V ファイルを選択してから右下の「Generate」ボタンをクリックする。

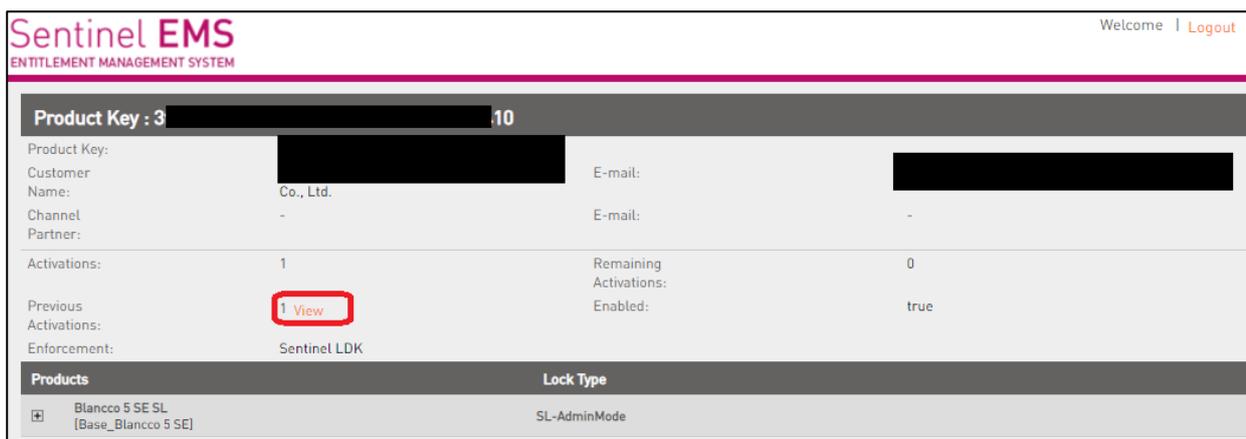


緑色の文字で「V2C generated successfully」と表示され、右下の「Download」の欄に「V2C ファイル」<sup>1</sup>のリンクが表示される。リンクをクリックしてデスクトップに「V2C ファイル」を保存する。

<sup>1</sup> 「C2V ファイル」と混同しないように注意してください。

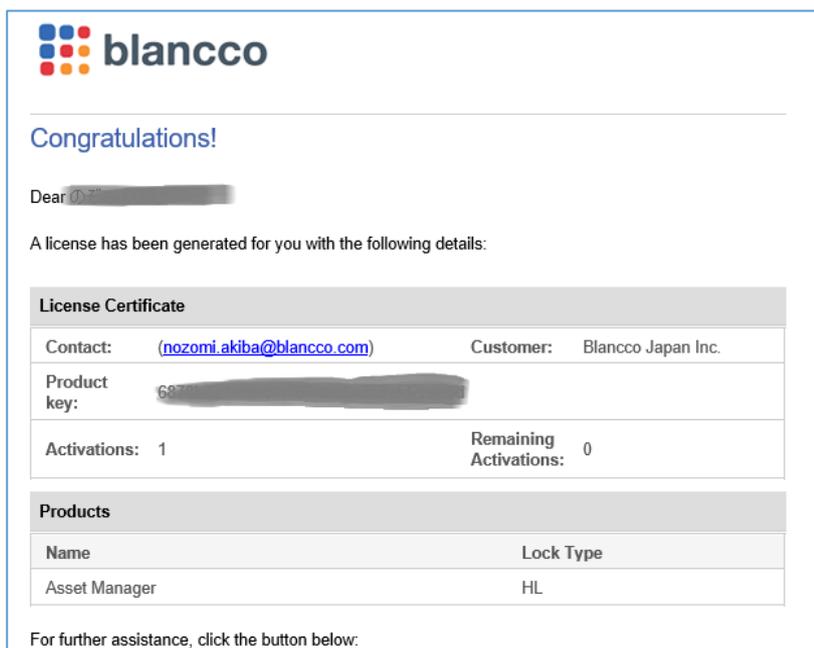


注意：V2C ファイルを保存する前に誤って Web ブラウザを閉じてしまった場合はもう一度「EMS メール」の本文に記載されている「License Activation Portal」の URL をクリックして Web ブラウザを開き、同じく EMS メールに記載されている「Product Key」を使ってログインし直してください。ログイン後に次の画面が表示されますので赤枠で囲んだ「View」をクリックしてください。すると前述の「V2C ファイル」のリンクが再び表示されます。

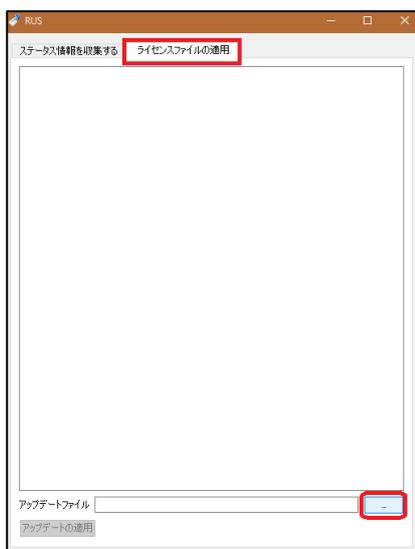


なお、V2C ファイル保存のステップに限らず途中で誤って画面を閉じてしまうことがあるかと思いますが、その場合も「EMS メール」にしたがってポータルにログインし直してください。途中から再開ができます。

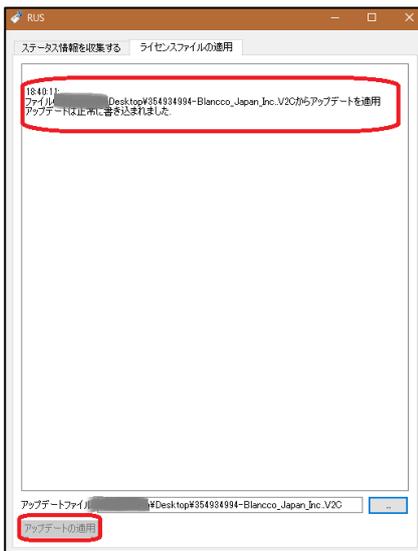
補足：V2C ファイルがダウンロードできるようになった時点で、ユーザーには次のスクリーンショットのようなメールが自動送信されます（件名と送信元メールアドレスは、それぞれ「EMS - License Certificate」と「[license@blancco.com](mailto:license@blancco.com)」）。このメールには同じ V2C ファイルが添付されているため、上記の手順のように Web ブラウザでダウンロードする代わりにメールの添付ファイルを保存しても構いません。



続いて、RUS ツールの画面で「ライセンスファイルの適用」タブをクリックし、「アップデートファイル」の「…」ボタンから前のステップで保存した V2C ファイルを選択。



ファイルの選択後、「アップデートの適用」ボタンをクリック。適用が成功すると「アップデートは正常に書き込まれました」とメッセージが表示されます。



これで、HASP キーへのライセンス登録は完了です。

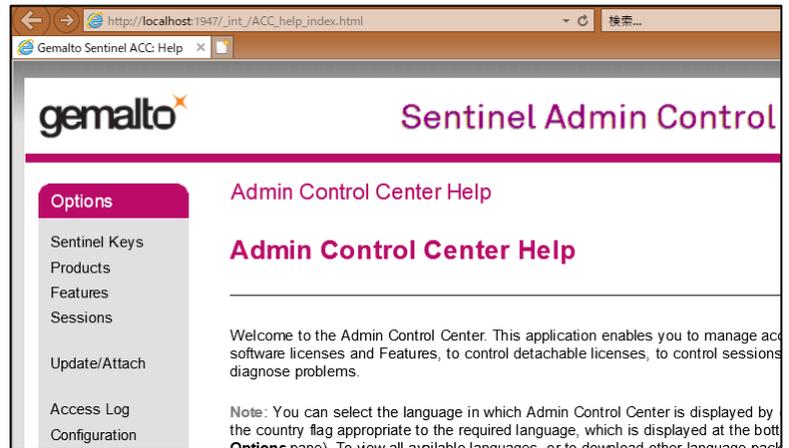
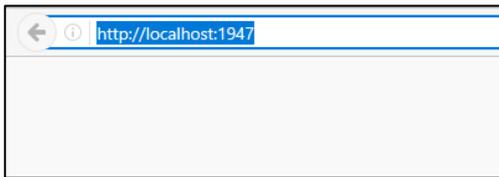
## 4.2 ライセンス情報確認の手順

前提として、「4.1 ライセンスアクティベートの手順」で使用した Windows コンピュータを用いることとします（HASP キーの Sentinel デバイスドライバがインストールされている必要があるため）。

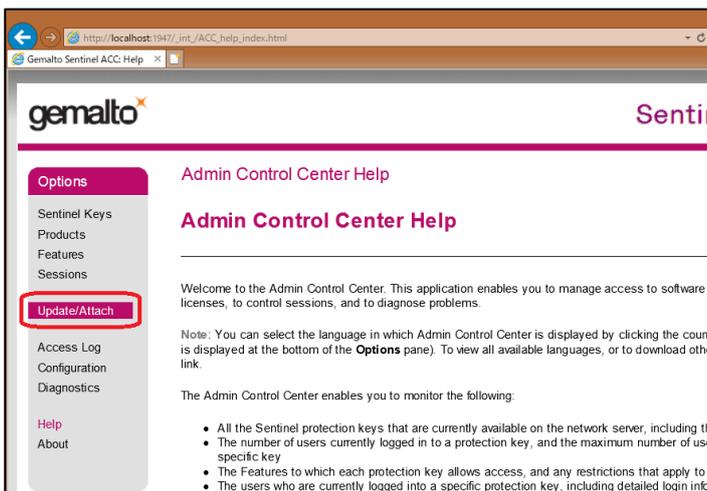
初めてライセンス情報を確認する時は Web ブラウザで次の URL を開いてデスクトップ等に「Blanco\_catalog\_definitions.xml」をダウンロードしておきます。

[https://support.blancco.com/download/attachments/4491317/Blanco\\_catalog\\_definitions.xml?version=1&modificationDate=1499775243000&api=v2](https://support.blancco.com/download/attachments/4491317/Blanco_catalog_definitions.xml?version=1&modificationDate=1499775243000&api=v2)

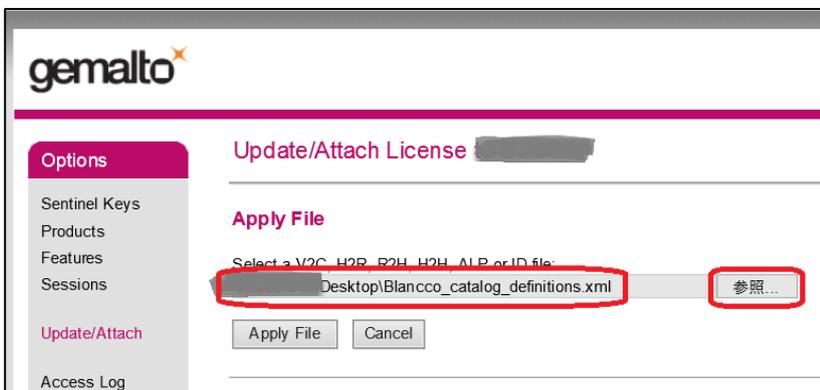
対象の HASP キーを Windows コンピュータに接続し、Web ブラウザでアドレス「<http://localhost:1947>」を開きます。すると「Sentinel Admin Control Center」の画面が表示されます。



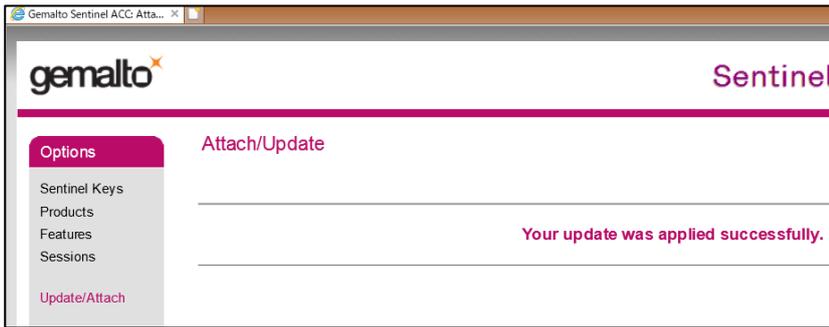
初回は左側のメニューから「Update/Attach」を選択します。



「Update/Attach License to コンピュータ名」の画面が開くので、ファイル名入力欄の右にある参照ボタンをクリックし、あらかじめ保存しておいた「Blanco\_catalog\_definitions.xml」を開きます。



「Apply File」ボタンをクリックします。すると次の画面のように「Your update was applied successfully」と表示されます。



左側のメニューから「Features」を選択すると、ライセンスの情報が表示されます。

#	Vendor	Key ID	Product	Feature	Location	Access	Counting	Logins	Limit	Detached	Restrictions	Sessions	Actions
1	MOXZM	354934994	-	0	Local	Loc	Station	-	∞	-	Perpetual	-	Sessions
2	MOXZM	354934994	1004 Base_Server Edition [PC] [Blanco 4]	102 ExpirationDate	Local	Loc Display	Station	-	∞	-	Expiration Date Tue Jan 1, 2030 08:55	-	Sessions
3	MOXZM	354934994	1004 Base_Server Edition [PC] [Blanco 4]	101 Executions	Local	Loc Display	Station	-	∞	-	Executions 20 available	-	Sessions
4	MOXZM	354934994	1020 Base_Blancco 5 SE	102 ExpirationDate	Local	Loc Display	Station	-	∞	-	Expiration Date Mon Dec 31, 2029 08:55	-	Sessions
5	MOXZM	354934994	1020 Base_Blancco 5 SE	101 Executions	Local	Loc Display	Station	-	∞	-	Executions 3 available	-	Sessions

上のスクリーンショットの例で「Product」列を見ると、二種類の Blanco 製品ライセンスが HASP キーに登録されていることがわかります（#2 と #3 の行は「Server Edition [PC] [Blanco 4]」で、#4 と #5 の行は「Blanco 5 SE」）。

各ライセンスの有効期限と残ライセンス数は「Restrictions」列に表示されており、「Expiration Date」に続く日時が有効期限、「Executions」に続く数字が残ライセンスを表します。上のスクリーンショットの場合は、Server Edition [PC] [Blanco 4] の有効期限は「Tue Jan 1, 2030 08:55」つまり 2030 年 1 月 1 日 08 時 55 分、残ライセンス数は「20 available」つまり 20 ライセンスであることがわかります。

以上。